

[No. 1] 建築基準法令に関する記述で、最も不適当なものは、次のうちどれか。

1. 建築基準法施行令で指定された遊戯施設の所有者（所有者と管理者が異なる場合は管理者）は、定期検査の報告をしなかった場合、罰金刑に処される場合がある。
2. 特定行政庁は、定期検査の報告内容に疑義があった場合であっても、実際に検査を行った検査員等に対し、直接、その検査の内容について詳細な報告を求めることはできない。
3. 建築基準法は、設計基準、設置基準であるほかに、使用開始後の将来にわたり維持すべき状態又は性能を規定したものである。
4. 耐火建築物は、主要構造部が耐火構造又は政令で定める技術的基準に適合し、かつ、外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に政令で定める防火設備を有する建築物である。

[No. 3] エレベーターの昇降路及びかごの出入口の戸に関する記述の  に入る数値の組み合わせで、建築基準法上、最も適当なものは、次のうちどれか。

昇降路の出入口の戸が閉じたときに、昇降路の出入口の戸の突合せ部分の隙間は、引き戸の場合は  mm以下、上下戸の場合は  mm以下とすることが規定されている。また、かごの出入口の戸が閉じたときに、かごの出入口の戸の突合せ部分の隙間は、引き戸の場合は  mm以下、上下戸の場合は  mm以下とすることが規定されている。

	<input type="text"/> ア	<input type="text"/> イ	<input type="text"/> ウ	<input type="text"/> エ
1.	6	8	9.5	12
2.	6	9.5	8	9.5
3.	6	9.5	8	12
4.	8	9.5	8	9.5

[No.8] 建築設備・防火設備等の計画に関する記述で、**最も不適当なもの**は、次のうちどれか。

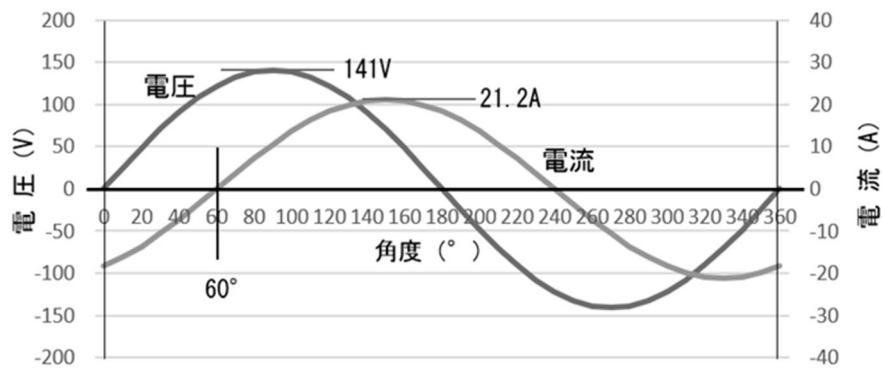
1. 随時閉鎖式の防火扉の閉鎖機構は、火災の感知装置と扉の閉鎖装置を組合わせ連動するようにしており、ドアの種類、大きさ、設置位置等を考慮して設けられる。
2. NC 曲線は騒音の評価に利用されるが、NC 値が同じ場合、高周波数の方が低周波数よりオクターブバンドレベル (dB) は大きくなる。
3. 機械換気設備の第三種換気方式は、室内の圧力が負圧になり、室内で発生した臭気等が他室に流失してはいけない室に適している。
4. 排煙設備は、火災時の避難安全確保を目的として建築基準法に基づいて設置するものと、消火活動上必要なものとして消防法に基づいて設置するものがある。

[No.10] 内圧を受ける内径  $D=500\text{ mm}$ 、肉厚  $t=10\text{ mm}$ の薄肉円筒の圧力容器がある。材料の許容応力  $\sigma_a=50\text{ MPa}$  のとき、許容できる内圧  $P$  (大気圧との差圧、単位  $\text{MPa}$ ) の値として、**最も近いもの**は、次のうちどれか。

1. 1.2
2. 1.6
3. 2.0
4. 2.4

[No.11] 図のような正弦波電圧で、正弦波電流が流れる単相交流回路がある（図は横軸を交流電圧と交流電流の1周期を角度で表示）。この回路の有効電力（単位W）の値として、**最も近いもの**は、次のうちどれか。

ただし、 $\cos 60^\circ = 1/2$  とする。



1. 750
2. 1,300
3. 1,500
4. 3,000

[No.16] エレベーターに関する記述で、**最も不適当なもの**は、次のうちどれか。

1. 巻上機を昇降路内に設置するロープ式エレベーターが法的に認められたことから、近年は、油圧エレベーターの設置台数が大幅に減少している。
2. エレベーターのかごが終端階を行き過ぎて走行しないようリミットスイッチを設けていても、ファイナルリミットスイッチを設けなければならない。
3. VVVF 制御方式において三相の交流は、コンバータで一旦直流に変換され、インバータで再び可変電圧、可変周波数の三相交流に変換されて電動機に給電される。
4. トラクション式巻上機では、同じ積載荷重のかごの場合、かご自重が小さいほど両側ロープの張力比が小さくなり、トラクション能力が増え、ロープの滑りが生じにくくなる。

[No.19] ロープ式エレベーターの定期検査の判定に関する記述で、**「要是正」とすべきもの**は、次のうちどれか。

1. 8より鋼索を使用した主索の素線切れの検査で、素線切れが平均的に分布しており、1よりピッチ内の素線切れ総数が18本であった。
2. リミットスイッチの作動の位置の検査で、スイッチがドアゾーン内で作動しなかった。
3. 調速機の過速スイッチを作動させたとき、安全回路が遮断され、遮断が保持されていた。
4. 引き戸である乗り場の戸のドアシューと敷居溝とのかかり代が6mmであった。

[No.22] 遊戯施設に関する記述で、建築基準法上、**最も適当なもの**は、次のうちどれか。

1. 遊戯施設の運転室は、運転を行うために十分見通しの良い位置に設け、人の乗降を監視できる構造としなければならない。
2. 遊戯施設は、建設工事中の中間検査に関する規定は適用されない。
3. 油圧式の駆動装置にあっては、油温の想定最高温度が70℃である場合、油温を制御する装置は設けなくてよい。
4. 遊戯施設の軌道部分に使用が認められる繊維強化プラスチックは、厚さ4mm以上と規定されている。

[No.26] ワイヤロープで吊り下げられ、釣合おもりが設置されている昇降式の遊戯施設の定期検査の判定に関する記述で、「要重点点検」とするものは、次のうちどれか。

1. ワイヤロープの素線切れを確認したところ、素線切れが平均的に分布している部分で、1構成より1ピッチ内の素線切れが2本であった。
2. ワイヤロープに張力を与えるためのばねを確認したところ、20本あるばねのうち1本が破損していた。
3. ワイヤロープの目視検査において、ワイヤロープに摩耗もなく、素線切れも確認できなかったが、谷部に赤錆色に見える箇所があった。
4. 釣合おもりに設置されているガイドシューの取付けボルト、ナットに緩みがあった。

[No.30] 「遊戯施設の維持保全計画書の作成手引き」及び「遊戯施設の運行管理規程の作成手引き」に関する記述で、最も適当なものは、次のうちどれか。

1. 所有者は、運行管理者、運転者及び補助者に対し、業務の遂行上必要な教育及び訓練を3年に1回行うこととしている。
2. 運行管理者とは、当該遊戯施設を使用して事業を営む者で、遊戯施設の運行管理に総括的な責任を担う立場の者をいう。
3. 部品交換に関しては、交換部品・消耗品の名称、部位、交換期日、実施者、その他必要な事項を一覧表にして記載する部品交換履歴表を作成する。
4. 運行管理における補助者は、利用者の監視及び誘導等を行うことが役目であるが、運転及び操作を直接行うこともできる。